

ACA アドビ認定アソシエイト対応 Illustrator CC 2020 試験対策

テキスト差分解説



2021年1月 株式会社オデッセイ コミュニケーションズ

テキスト差分解説

はじめに

アドビ認定アソシエイト (Adobe Certified Associate : ACA) とは、アドビが認定する Adobe Photoshop や Adobe Illustrator など、アドビのアプリの利用スキルを証明する国際資格です。

本資料「テキスト差分解説」について

本資料は、アドビ認定アソシエイトの「Graphic Design & Illustration using Adobe Illustrator CC 2020 (v24.x)」試験の学習を、書籍「ACA アドビ認定アソシエイト対応 Illustrator CC 試験対策」を使用して行う際 の相違点および差分を抜粋してまとめたものです。Illustrator CC 2015 以降の新機能をすべて網羅するものではあ りません。

学習環境について

本資料は、以下の環境での画面および操作方法で記載しています。環境によっては、本資料と画面の表示が異なる場合や、記載の操作が行えない場合があります。あらかじめご了承ください。

- OS : Windows 10 Pro(64 ビット)
- アプリケーションソフト: Adobe Illustrator 2020(v24.x)以降

ACA に関する情報はこちらから

ACA 公式サイト https://adobe.odyssey-com.co.jp/

- 株式会社オデッセイ コミュニケーションズは、本資料および対策テキストの使用による ACA の合格を保証いたしません。
- アドビ認定アソシエイト(Adobe Certified Associate)、Adobe Certified Associate ロゴ、Photoshop は、Adobe Inc. (アドビ)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、本文中に記載されている会社名、製品名は、すべて関係各社の商標または登録商標、商品名です。
- 本文中では、™マーク、®マークは明記しておりません。
- 本資料に掲載されている全ての内容に関する権利は、株式会社オデッセイコミュニケーションズ、または、当社が使用許諾を得た第 三者に帰属します。株式会社オデッセイコミュニケーションズの承諾を得ずに、本資料の一部または全部を無断で複写、転載・複製 することを禁止します。
- 本資料に掲載されている情報、または、本資料を利用することで発生したトラブルや損失、損害に対して、株式会社オデッセイ コミュ ニケーションズは一切責任を負いません。

試験の出題範囲と本書の対応

『Graphic Design & Illustration using Adobe Illustrator CC 2020(v24.x)』の出題範囲と「ACA アドビ認 定アソシエイト対応 Illustrator CC 試験対策」で解説している対応表です。学習の参考にしてください。

大分類	小分類	対応する章
1.0 デザイン業界で働く	 1.1 画像作成の目的、対象者、対象者のニーズを特定する 1.2 デザインプランについて同僚や顧客とコミュニケーションをとる 1.3 コンテンツの利用に必要な著作権、許可、ライセンスの種類を 特定する 1.4 デジタル画像に関する主な用語についての知識を示す 1.5 デザインの基本原則、およびビジュアル デザイン業界における ベストプラクティスについての知識を示す 	2章 4章 11章
2.0 プロジェクト環境の設定と インターフェイス	 2.1 ウェブ用、印刷用、動画用ドキュメントを、適切な設定で作成する 2.2 アプリケーションのワークスペースを切替え、整理、カスタマイズする 2.3 印刷されないデザインツールを画面に表示して、デザインや作業を行いやすくする 2.4 プロジェクトにアセットを取り込む 2.5 色、スウォッチ、グラデーションを管理する 2.6 ブラシ、シンボル、スタイル、パターンを管理する 	2章 4章 5章 9章
3.0 ドキュメントの整理	3.1 レイヤーを使用してデザイン要素を管理する 3.2 不透明度、マスクを使用してレイヤー表示を変更する	4章 6章 9章
4.0 視覚的要素の作成と変更	 4.1 主要なツールや機能を使用してビジュアル要素を作成する 4.2 適切なタイポグラフィの設定を使用してテキストを追加する、 操作する 4.3 選択範囲を作成する、管理する、操作する 4.4 デジタル画像やメディアを変換する 4.5 再構成や編集の基本的技法を使ってデジタル画像やメディア を操作する 4.6 効果やグラフィックスタイルを使用してデザイン要素のアピアラン スを変更する 	2章 3章 5章 7章 8章
5.0 デジタルメディアの公開	5.1 ウェブ用、印刷用、動画用の画像を準備する 5.2 デジタル画像をさまざまなファイル形式に書き出し、保存する	10 章

第1章 新規ドキュメントを作成する(テキスト4・9ページ) 2.2 ドキュメントの作成(テキスト41ページ)

新規ドキュメント作成画面が変更されました。

亲	新規ドキュメント									lan -				×	
	① 最近使用したもの	保存済み	モバイル	Web	印刷	フィルムとビデオ	アートと1	ラスト							
	20142x7r7Utyr (8		4]		Ø		[<u>ර</u>		ブリセットの詳細 名称未設走-5 幅 215.9 mm 高さ	ミリメートル	-5-5-5	-	
	↓⁄9– 2159 x 2794 mm		A4 210 x 297 m	m		プリント (大) 6705.6 x 3048 mn	n	1 215.9 s	Jーガル x 355.6 mm	J	adc 279.4 mm 裁5落とし 天	21 m 2			(
	テンプレート (43)			すべてのフ	プリセットを	<u>表示</u> +					3 mm 左揃え				
	カラフルな学園条子5		INSET FE				***7 **7 **7 無料	EAROĽ	У ЙАЛЯ <u>#</u>		◆ 3 mm ◆ 詳細オブション カラーモード CMYKカラー ラスタライズ効果 高解像度(:)	300 ppi)	~		(
		5							DOLOR	- NO	ブレビューモード 指定なし 詳細設定]	~		(
		ه م	lobe Stock 7	907×3	ブレートき		検索					作成	(第 1	55	

- ① 新規ドキュメントの使用用途を選択します。
- ② 新規ドキュメントのサイズを選択します。
- ③ 新規ドキュメントの名前やサイズ、方向、アートボード数などを設定します。
- ④ 詳細オプションを展開すると、カラーモード、ラスタライズ効果などを設定できます。
 詳細オプションの設定は、後から変更も可能です。カラーモードは、【ファイル】メニュー→【ドキュメントのカラー
 モード】、ラスタライズ効果は、【効果】メニュー→【ドキュメントのラスタライズ効果設定】から変更します。
- ⑤ [詳細設定]から以前の新規ドキュメントと同様のダイアログボックスを開くことができます。

以前の新規ドキュメント画面を使用する場合には、 [編集] メニュー→ [環境設定] → [一般] を選択します。表示される [環境設定] ダイアログボックスで [以前の「新規ドキュメント」インターフェイスを使用] をオンにします。

1818-10 m		
揮現設正		
 一般 通訳範囲・アンカー表示 デキスト 単位 ガイド・グリッド スマートガイド スライス 	一般 キー入力(近): 0.3528 mm 角度の初限(<u>ム</u>): 0 ^e 角丸の半径(近): 4.2333 mr	
ハイフネーション プラクイン・ 仮想と増ディスク ューザーインターフェイス パクォーマンス ファイル増増・クリップボード ブラックのアピアランス デバイス	 ペンツールでパス上にアンカーボイントを自動で追加 / 削除しない(E) +キカーソルを使う(E) ソールヒント表示(I) すべてのドキュメントで定境を表示 / 非表示(W) アートワークのアンチエイリアス(I) 同じ温度を選択(M) ドキュメントと無いていないときに木ーム画面を表示(H) メレターの「水川ドキュメント」インターフェイスを使用 ゴレビュー境界を使用(W) 10% ズームて回帰サイズを表示 以前のパージョンファイルを開くときに「更新済み]をファイル名に追加(L) タッチバッドでピンチズームを強制的に有効(P) (1) 	 ダブルクリックして編集モード(<u>U</u>) 日本式トンボを使用(<u>1</u>) パクーンも変形する(E) 角を拡大・緑小(<u>5</u>) 繊維(公理も拡大・緑小(<u>0</u>)) コンテンツに応じた初期値を適用 PDF を読み込むときに元のサイズを維持
	すべての警告ダイアログをリセット(<u>D</u>)	環境設定をリセット

[環境設定]ダイアログボックスでは、このほかにもファイルの保存オプション、使用する単位、ガイドやグリッドの設定、テキストオブジェクト挿入時のサンプルテキストの表示の有無など、Illustratorの既定の動作や設定を行うことができます。

第1章 ファイルを保存する(テキスト8・15・21・28ページ) 2.3 ドキュメントを開く、保存する(テキスト 43ページ)

編集したファイルの保存操作では、保存先を選択する画面が表示されるようになりました。 [コンピューターに保存]をクリックすると、使用しているパソコンに保存することができます。 [次回から表示しない] にチェックを入れると、対策テキストと同じ挙動になります。



保存時に表示される [Illustrator オプション] ダイアログボックスは、既定のバージョンが [Illustrator 2020] に変更さ れました。保存したファイルを CC2019 以前の CC バージョンで開けるようにする場合は、 [Illustrator CC(レガシー)] を選択します。オプションの [PDF 互換ファイルを作成] にチェックを入れると、Photoshop や Adobe Acrobat Reader などの PDF 形式に対応したアプリケーションでも、Ai ファイルを開くことができます。

Illustrator オプション	
バージョン: <mark>Illustrator 2020 ~)</mark> Illustrator 24 以隣と互換性があります。	
フォント	
使用している文字の新合が次より少ない場合 ① サプセットにする (S): 100%	
オプション	
☑ PDF 互換ファイルを作成 (C)	
□ 配置した画像を含む (L)	
☑ ICC プロファイルを埋め込む (P)	
□ 圧縮を使用(M)	
○ バスを解待(透明部分を戦棄)(1) ○ アピマランフとオーバーブリントを保持(1)	
プリヤット (R): [中解像度] ・ カスタム (U)	
(1) 埋め込み じきるのは週頃は許可が与えられにノオンドのみ じす。	
	OK (#7721)

2.1 画面構成/ワークスペースの管理(テキスト 30・32 ページ)

初期設定のワークスペースが変更されました。CC18 以降、コントロールパネルやパネルアイコンは非表示になり、 [プロパ ティ]・ [レイヤー]・ [CC ライブラリ] パネルが画面右側に表示されるようになりました。 [プロパティ] パネルの内容や設 定オプションは、選択されているオブジェクトによって切り替わります。



コントロールパネルを表示するには [ウィンドウ] メニュー→ [コントロール] を選択します。

ィンドウ(W)	▲ 新規ウィンドウ(W)	
	アレンジ(A) Exchange でエクステンションを検索	>
	ワークスペース	>
	エクステンション	>
	コントロール(C)	
	ツールバー	>

2.1 画面構成/ツールパネル(テキスト 34~36 ページ)

初期設定では、ツールパネルには [基本] 設定のツールのみ が表示されます。すべてのツールを表示するには [ウィンドウ] メニュー→ [ツールバー] → [詳細] を選択します。 また、 [自動選択ツール] ひなど、各種ツールアイコンのデ ザインが一部変更されています。

ウィンドウ(W)	*	新規ウィンドウ(W)				
		アレンジ(A) Exchange でエクステンションを検索 ワークスペース	> >			
		エクステンション コントロール(C)	>			
		ツールバー	>	~	基本	
		Adobe Color テーマ			詳細	

アートワークを自由に変形できる [パペットワープツール] が追加されました。使用方法は、本資料 8 ページ「6.4 オブジェクトの変形/パペットワープツール」で説明します。



2.1 画面構成/主なパネル(テキスト 38・39 ページ)

パネルやダイアログボックス内の新規作成アイコンが変更されました。 右の図は、 [レイヤー] パネルの [新規レイヤーを作成] アイコンです。

2.2 ドキュメントの作成/アートボードの変更と作成(テキスト 42 ページ)

ツールパネルの [アートボードツール] アイコンがデザイン変更されました。

アートボードが複数ある場合は、コントロールパネルまたは [プロパティ] パネルにある [すべて再配置] をクリックすると、レイ アウトや順序を変更できます。

4.2 色の設定/Color テーマパネルを開く(テキスト 92 ページ)

[Color テーマ] パネルが [Adobe Color テーマ] パネルに変更されました。 [Adobe Color テーマ] パネルでは、 [作成] タブで独自カラーを作成したり、 [探 索] タブでカラーテーマをカテゴリや期間で検索したりできます。カラーテーマは [スウォッ チ] パネルのカラーグループとして追加することもできます。また、 [カラーガイド] パネル から作成したカラーグループも [スウォッチ] パネルに追加できます。

Adobe Color テーマ 作成 探索 マイテーマ 人気の高い順 ・ 月 ・ Color themeCoquillage exercice 6 *** Color themeCoquillage exercice 6 *** Corテーマを編集 お気に入りに追加 スウォッチに追加 スウォッチに追加



アートボードツール (Shift+O)



4.3 グラデーション(テキスト 98 ページ)

[グラデーション] パネルの表示が変更されました。

グラデーションの種類も [線形グラデーション]、 [円形グラデーション]、 [フリー グラデーション]の3つに変更され、アイコンをクリックして切り替えます。 [塗りと 線]の下にある [反転グラデーション]アイコンをクリックすると、グラデーションの方 向を反転できます。



6.3 [レイヤー] パネル/レイヤーの結合(テキスト 160・162 ページ)

[レイヤー] パネルに [書き出し用に追加] アイコンが追加されました。 選択したレイヤーのアートワークがひとつのアセットとして [アセットの書き出し] パネルに追加されます。



レイヤーパネルメニューの [新規レイヤーに集める] のメニュー名が [新規サブレイヤー に集める] に変更されました。

まとめたいレイヤーを選択して [新規サブレイヤーに集める] をクリックすると、選択した レイヤーは新たに作成されたサブレイヤーにまとめられます。



作成したサブレイヤーのサムネイルをクリックして[レイヤーオプション]ダイア ログボックスを表示すると、レイヤー名やレイヤーカラーを変更できます。また、 テンプレートレイヤーへの変更やロック、表示、印刷設定もできます。

名前 (\): レイヤー 1
カラー (<u>C</u>): ライトブルー 🔷 📃
□ 表示(E) □ □ フリント(P) □ ブレビュー(<u>V</u>) □ 画像の表示濃度(<u>D</u>): 50%
OK (#17/21)

新規レイヤー(N)... 新規サブレイヤー(B)...

「レイヤー 1」を複製(C)

「レイヤー 1」を削除(D)

6.4 オブジェクトの変形/パペットワープツール

CC18 よりツールパネルに [パペットワープツール] が追加されました。パペットワープツールは、選択したアートワークを自由に 変形するツールです。

アートワークを選択後、 [パペットワープツール] をクリックするとメッシュで覆われてピンが追加されます。ピンはクリックで追加、 [Delete] キーで削除できます。ピンは変形する領域だけでなく、変形時に連動して動かないように固定したい領域にも追 加できます。変形する領域のピンをドラッグしたり、ピン周囲の点線の円を回転させたりしてオブジェクトを変形します。



10.1 印刷と公開の準備/ピクセルグリッドに整合(テキスト 252・253 ページ)

変形パネルから [ピクセルグリッドに整合] が削除されました。

「ピクセルグリッドに整合」を行うには、オブジェクトを選択して、コントロールパネルにある①のアイコン [選択したアートをピクセルグリッドに整合]をクリックします。オブジェクトを右クリックして表示される [ピクセルグリッドに最適化] からも同様の操作が 行えます。

新規ドキュメント画面からも [新規オブジェクトをピクセルグリッドに整合] の項目が削除されました。

新規に作成するオブジェクトをピクセルグリッドに整合させるには、②をクリックします。



- ① 選択したアートをピクセルグリッドに整合します
- ② 作成および変形時にアートをピクセルグリッドに整合します

クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CC ライセンス)

本来、動画・写真・音楽などの作品には著作権があり、無断で二次利用をすることは著作権違反となります。しかしながら、 インターネットの普及により、作品によっては別サイトや SNS での二次利用からの利益増加を見込めるケースもあるため、 「All rights reserved(著作権保持)」と「No rights reserved(著作権放棄)」の中間となるライセンスとして「クリ エイティブ・コモンズ・ライセンス」が生まれました。作者は CC ライセンスを使用することで、著作権を保持した状態で作品を広 めることができるようになりました。なお、Illustrator では [ファイル] → [ファイル情報] を選択して表示される画面内で ファイルの著作権の状態を確認できます。

「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」は 4 種類の条件を示したアイコンがあり、それらを組み合わせた 6 つのライセンスで構成 されます。

4 種類の条件(アイコン)

•	BY(表示)	作品のクレジットを表示すること
\$	NC(非営利)	営利目的での利用をしないこと
	ND(改変禁止)	元の作品を改変しないこと
0	SA(継承)	元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開すること

6 つのライセンス

CCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCCC	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示することを主な条件とし、改変はもち ろん、営利目的での二次利用も許可される最も自由度の高い CC ライセンス
CC O O BY SA 表示-継承	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、改変した場合には元の作品と同じ CC ライセンス(このライセンス)で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用 も許可される CC ライセンス
CC D D BY ND 表示-改変禁止	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ元の作品を改変しないことを 主な条件に、営利目的での利用(転載、コピー、共有)が行える CC ライセンス
CC O S BY NC 表示-非営利	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的であることを主 な条件に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンス
() () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()()()()()()()()()()	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせの CC ライセンスで公開することを主な条件 に、改変したり再配布したりすることができる CC ライセンス
() () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () () ()()()()()()()()()()	原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的であり、そして 元の作品を改変しないことを主な条件に、作品を自由に再配布できる CC ライセンス

引用元:データ・資料 | クリエイティブ・コモンズ・ジャパン (https://creativecommons.jp/licenses/)